

会 議 録

会議の名称	平成26年度第5回富士見市社会教育委員会会議
開催日時	平成26年10月14日（火）午後7時～9時
開催場所	教育委員会 2階 会議室
出席者	高野昂子委員、西山ひろみ委員、武田秀規委員、 田尻 円委員、長ヶ原美博委員、本間雄一委員、 小森和雄委員、 事務局（生涯学習課長、主査）
欠席者	児玉亮一委員、千葉純平委員、岩村沢也委員
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議次第	<p>1. 協議事項</p> <p>（1）今後の予定</p> <p>（2）懇談会でのアイデアについて</p> <p>（3）報告書作成の役割分担 もくじ（案） スケジュール（案）</p> <p>（4）その他</p> <p>2. 報告及び連絡事項</p> <p>（1）平成26年度社会教育委員研修会</p> <p>（2）その他</p> <p>3. その他</p> <p>（1）その他</p> <p>＊次回会議日程 日時：平成26年12月6日（土）9時30分～ 会場：教育委員会会議室</p>
会議資料	① 次第 ②モデル事業アイデア ③武田メモ ④公民館だより（10月号） ⑤平成25年度入間地区市町社会教育委員研修会報告 他
会議録確認	武田秀規委員

会 議 内 容 (要点記録)

◇ 開 会

◇ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

【議長（武田氏）】

(1) 今後の予定

来年5月までに報告書をまとめる。「もくじ」に沿って委員が書かなければならない。テーマは「保護者の学びや育ちを応援する学習機会の充実施策について」。先般の懇談会でモデル事業のアイデアがあがっている。報告書に上げていく時に、取捨選択をして、誰を対象に・どういう内容で・どういう人を講師として呼んで・どこでやるのか、という形のものを報告書には挙げたい。

【事務局】

報告書のイメージとして、PTAなどの方々が活動する時に報告書を見てこうすればいいんだなと分かれば良い。

【事務局】

これまで出てきたアイデアと全然違う報告書は良くないので、分類していく方法が良い。

【議 長】

前は、「はじめに」で、このテーマを扱った理由を説明した。「現状」「意見」は会議の中で出てきたもの。今までのものは、具体性があったとしても予算的に不可能だったりする。今回は、見た人がこういうものだったらやってみようという参考になるものを作りたい。

【議 長】

報告書が「これ出来そうじゃない」というものであれば通用する。学校という場を活かしたものが出来れば良いと思う。

【委 員】

前回の報告書はけっこうボリュームがありますね。

【議 長】

アンケートを取った分のデータがある。本編はA4で8ページくらい。

【委 員】

報告書は、恰好をつけて分厚くしがちですが、伝わりやすい内容にしたい。

【議 長】

1項目A4、1枚くらい、せいぜい2枚、それ以上になると、体裁はいいですが、

一回見て終わり。パラパラと見て中身が分かるのが一番いい。

【委員】

そうすると1から5番まで項目で20ページ程度。

【委員】

モデル事業アイデアの中で、参考事例があれば素人がみてもやってみよう、という気持ちになりやすい。

【委員】

報告書の「はじめに」と「現状・課題」は社教委員のキャリアのある方の率直な意見で議長中心に書いて頂いて、メインの「具体的な提案」は社教委員全体として出していく感じでどうか。

【議長】

「おわりに」は、まとめのような形になっていて、前は学識者・学校の先生・大学教授が書いた。

【委員】

「具体的な提案」の所は、1個くらいは検証しておかないといけない。2月・3月くらいで検証の意味を含めて行い写真でも入れれば意味が全然違ってくる。

【事務局】

もし出来なかった場合に次の社会教育委員さんに検証も含めた研究をしてもらう方法がある。家庭教育アドバイザーの方とも関係が出来たので2月の入学説明会で、やることは可能。

【議長】

実際にやれたら一番いい。今日の時点で、講師、テーマまで具体化して投げかければ、受けてくれる学校・PTAがあるかもしれない。報告書の中の4と5の間に、「具体的な提案」の検証を加えることもできる。

【委員】

本郷中学校PTAに関わっているが、行き着くところは保護者会である。保護者会を充実していくのと、「おやじの会」が機能していないので、直近OBを巻き込み中心に「本郷サポーター」を作っていきたい。中学校の学校行事には、ほとんど親は来ない。人が集まりやすい委員会を作って行かなければいけない。

【事務局】

保護者会の中で何かをしようと言うこと？

【委員】

全体行事で一発ドーンというのもあるが、学級という声が届く範囲で何かやると

いうこと。全体で、平日にイベントを打っても来ない。

【委員】

初めて小学校にあがったお母様方は、ホントに色々分からない。子育てのヒントとか、子どもをどう叱ったらよいかとかがすごく不安。学ぶチャンスが無い。

【事務局】

今の時期だと入学説明会？2月くらい？

【委員】

2月10日前後になると思う。

【議長】

入学説明会に来るのは、学校に入っていない人。入っている子の親が懇談会に来る時期はあるか？

【委員】

保護者会は3学期に1度ある。

【委員】

2学期もあるけど厳しい。

【事務局】

依頼する場合は、校長会に話を通して、各学校で検討してもらおうということになる。講師の方は、予算が無くて来ていただける方、家庭教育アドバイザーで都合がつく方ということになる。

【議長】

低学年だと集まりがいい。どうしたら良いかを出してもらえると分かっていると、興味をもって来てくれる。

【委員】

関係のあるテーマだと、来てくれる。テーマが問題。

【事務局】

保護者会が、1月の中旬と3月の頭くらい。1月は3学期の方針について、3月は保護者から一言挨拶をもらったりなど。事業参観の前にやることは可能かもしれないということ。校長会に一度通して、各学校で検討してもらおう。

【議長】

そうすると3月になる。やってもらえれば、良かったということになると思う。

【事務局】

本郷中学校とは何か出来ないか。

【委員】

P T Aですと年度事業が決まっていると難しいが、社教委員の要請ということであれば先生方や本部の皆に声かけてやってもらえるかもしれない。

【議長】

やるとすれば内容は？

【委員】

教育相談室の先生方は、話を聞けば聞くほどいい。例えば「低体温症」の話を聞くのも大変勉強になった。中学校にお招きして実施する。本郷中だけだとしても、校長会には出してもらって、校長先生に「いいよ」と思ってもらえるように暖めてもらおうと進めやすいと思う。

【議長】

中学校も入って1年経って不安の時期があるのなら1年生のみに絞った方が良い。

【委員】

小学校と環境が変わるので中学校の親も不安だと思う。思春期の子を持つ親の気持ちは複雑。小学生は周りから可愛いと言われ、町会も小学校を拠点にそれぞれが良くやっている。でも中学校になると声を掛けないとか挨拶もしないとかある。中学校の子を持つ親というのはデリケートなので、ホントは中学生の親向けに大丈夫だよというところでやれば良い。

【議長】

ではその2本。小学校低学年、1年生・2年生？纏めて？

【委員】

3年生も。低学年？

【議長】

1年生の親に話すのと3年生の親に話すのでは違う。そうすると話がぼやけてしまうと、何だったんだろうということにならないか。

【委員】

学校の方で、3年生の方が時間も余裕があるというのなら、3年生のスポットでいい。1年生はまだ余裕がないから、保護者会の時間を割くのは無いかもしれない。1年から3年と欲張らないで、スポットでいった方が良いと思う。

【事務局】

学年全体と言うこと。それで投げかける。

【委員】

保護者会時に別の部屋を一教室用意すれば、すっといけると思う。比較的クラスの少ない学校だったら良い。

【事務局】

講師は教育相談室で良いか？

【議長】

教育相談室のプロフェッショナルにお願い出来れば良い。現実の子どもたちの学校ニーズも把握していると思う。

【委員】

参加した人と教育相談室との距離は近くなると思う。繋がっていくとより円滑にいくと思う。

【議長】

小学校・中学校に今年度中にお問い合わせするという形で、事務局にお願いします。

【委員】

アンケートは大事。就学時健診の時、お母さんたちにアンケートを書いてもらいたい。それを学校広報誌に載せると、保護者に「こんなことやっているんだ」と知ってもらえるし、後に繋がる。お母さんたちの生の声も聞けるので、やりっ放しは無く感想を取るのは有効だと思った。

【委員】

フィードバックすると非常に関心が高くなる。皆さんの目に触れるようになると喜びがある。

【議長】

実際にやるとなれば、アンケートの内容もこちらで考えることになる。それについても、学校・PTA・教育相談室にもこうでしたと報告出来るし、報告書にも載せられる。

【委員】

KJ法で、テーマ別にグルーピングして作っていけばよい。

【事務局】

このテーマ分けでよければ、事務局の方でグルーピングする。

【委員】

グルーピングしたら、そこに大きなテーマをつければ大きな流れが出来る。せっかく皆さん出してくれたので、全部セレクトしていただいたら良い。

【委員】

小中学校に伺うということだが切込みをどこから持っていくか。校長会は、定例校長会（役所・教育長中心）と校長研究協議会（校長会運営）の2つがあるが、どこから切り込んでいくか。

【事務局】

学校等に依頼する場合は定例の校長会。テーマの理解を得られないと難しい。

【委員】

「保護者の育ち」というのが課題だと捉えてくれると思う、時期的な問題はある。

【議長】

「懇談会のアイデア」は、報告書の中で羅列するのでは無くて、だれを対象に・どういう内容で・どういう講師がいる、というところまで踏み込んでいく。

【事務局】

ホームページについては、前回のアイデアを、イベント系・交流系・その他情報系に分けた。フローチャート式なのか表のような形で示すのか。これに関しても報告書に入れさせていただきたいと考えている。纏め方に関しては、事務局では特に案はない。

【議長】

「4、具体的提案」は、モデル事業とホームページの2本立て。纏める人もそれぞれ、委員の分担が必要。報告書の役割分担を固めていきたい。モデル事業を実施したとすれば、それでまた一つ項目が増えることになる。

【議長】

早めに決めておけば皆さんに相談できると思う。

(1) 「はじめに」 西山さん、長ヶ原さん

(2) 「現状・課題」 西山さん、長ヶ原さん

※ (1) (2) は一緒に書く

(3) 「意見・考察」 児玉先生・田尻さん・高野さん

(4) 「具体的な提案」

① モデル事業 武田さん

② ホームページ 千葉さん

(5) 「具体的実施例」(検証含む)(小中一緒に)

① 小学校 小森さん

② 中学校 本間さん

(6) 「おわりに」 岩村先生

次の12月に向けて、資料を揃えたり、事務局に相談したりと担当の方で連絡を取ったり、時間をかけていただきたい。2月の会議にはデータで出てくるということで、1月中には原稿を提出することになる。

【委員】

具体的実施例はそれまでに終わっていなければならない。

【議 長】

具体的などという項目で何をのせるのか。項目だけ考えて頂く。

【委 員】

まとめるのは最後が良い。3月実施に向け1回働きかけておくことですね。

【議 長】

あとは事務局の頑張り次第ですね、受け入れ側の問題ですが。

参加者に対するアンケートの内容も考えて、12月に項目くらい出して、皆に案を相談していただければよい。

【委 員】

中学校のモデル事業の話ですが、保護者会と言うことか？

【議 長】

やり易い方向で良いと思う。

【委 員】

本中の保護者会が1年生が2月19日の木曜日。

【事務局】

2. 報告及び連絡事項

(1) 社会教育委員研修会（報告：小森委員）

10月10日（金）1時～ 川越市大東市民センター

第2分科会：長ヶ原委員・小森委員 第3分科会：田尻委員

(2) 淑徳大学・文京学院大学共催公開講座参加報告：小森委員

10月4日・11日にテーマ「生涯学習で豊かな人生を」

質問として、横に繋がらないのかと提案した。

(3) その他

地域や所属団体などについての情報交換

*高野委員：10月25日にふるさと祭り開催され文化協会がバザーで模擬店参加。

11月1～3日、市民文化祭をキラリで開催。

*小森委員：11月2日、水子貝塚20周年記念イベント開催。熱気球を係留で上げる。難波田城公園からも綿繰り体験で参加する。

4 その他

*次回の日程は、12月6日（土）午前9時30分～とする。

5 閉会

副議長あいさつ

（閉会）